

でんきくわん

野生動物を近寄らせない・棲みつかせない

家の敷地内や畑に野菜を廃棄したり、生ゴミを放置していませんか？

野生動物にとって、食べられなくなった野菜や生ゴミは絶好のエサです。食べ物の匂いをかぎ取り野生動物が出没する原因になります。また、野菜を収穫せず放置したり、果樹をそのままにしておくことも野生動物が寄って来る原因になります。

田畑や空き家、山林はしっかり管理していますか？作物が実ったまま、柵などを設置していない場合、野生動物の棲みかとなり、荒らされてしまう可能性があります。また、学習した野生動物が頻繁に訪れ、出会うてしまう危険性もあります。放置された田畑や山林は、野生動物が身を隠すには最適です。定期的に草を刈るなど管理を徹底しましょう。

追い払いを行うときは？

普段から野生動物が寄りつくことを防ぐため、音を立てながら追い払いを行う事も効果的です。

※安全の為に、次を用意しましょう

ベニア板など盾になる物
パチンコなど武器になる物



電気柵を効果的に活用

田畑などに野生動物を近づかせないために、電気柵を効果的に活用しましょう。

断線や漏電など電気が流れないようにはなっていますか？

電線に草木が触れていると漏電してしまいます。コンクリートやアスファルトは電気が流れにくいいため、動物の足が土に触れるように設置してください。

常に電源が入っていますか？

柵を設置しているときは常時電気が流れるようにし、電源を入れないときは柵を片付けましょう。



▲設置された電気柵



▲放置された田畑



▲畑に放置された野菜

出会ったときどうする!?

注意喚起と対処方法を パンフレットにまとめました

令和3年9月に野生動物に対して注意喚起と対処方法の周知のため、パンフレットを作成し、毎戸配布しました。

近年、クマの目撃やイノシシ、シカなどの野生動物との事故が多数発生しています。配布したパンフレットを確認し、いざというときに備えてください。

パンフレットは市ホームページで閲覧できるほか、**【**農林課でも配布しています。



有害鳥獣から身を守ろう!

電気柵などの購入費用を補助

市は、野生動物からの被害を防ぐため、農地に電気柵などの被害防除柵を設置する場合、購入費用を補助しています。詳しくは市ホームページを確認してください。



▲市ホームページ

わな猟免許取得費用を補助

野生動物を捕まえるためには、わな猟免許が必要になります。自己防衛活動を支援します。

○野生動物の捕獲

野生動物の捕獲は、安全面から猟期が定められています。ただ、檻を使った捕獲は市に申請することで捕獲を行うことができる場合があります。



※イノシシ・シカの捕獲

わな猟免許を持ち、市に申請することで、条件を満たせば猟期外でも捕獲を許可する場合があります。条件：所有地の被害防止が目的であり、捕獲檻を用いた捕獲に限る

※アライグマなどの小動物の捕獲

狩猟免許を持たない人で、市に申請することで、条件を満たせば捕獲を許可する場合があります。条件：所有する建物の被害防止が目的で、小型檻を用いた捕獲に限る

問合せ ▶ 農林課鳥獣対策係 (☎内線2618)